

[調査会 NEWS 366] (18.5.2)

雑感

荒木和博

横田早紀江さんの米議会証言、ブッシュ大統領との会見などは連日大きく報道され、日本でもあらためて拉致問題への関心を高めることができました。家族会・救う会の皆さんのご尽力に心から経緯を表する次第です。横田早紀江さんも団長を務められた飯塚繁雄・家族会副代表もハードなスケジュールだったと思いますが、帰国後はできるだけ無理をしないで、少しでも休息をとってもらおうよう切に願う次第です。

今回の一連のイベントでは、22日の集会に大澤孝司さんのお兄さんである昭一さんご夫妻、山本美保さんの妹さんである森本美砂さんも参加されました。特定失踪者ご家族への政府の対応は、家族会の発足した頃と同様の状況であり、その点では現在の家族会とは差がつけられていると言わざるをえません。

だからこそ古川了子さんの拉致認定を求める訴訟も行っているのですが、私たちとしては個別の対応もさることながら、「北朝鮮にいる拉致被害者は全員探し出し連れ帰る」という、基本に立ち返って対応してもらいたいと思います。その線が守られていれば、個別の対応が多少雑であろうと、私たちもご家族も、おそらく大部分の人は文句を言わないでしょう。「どこに、誰がいるのか調べ、どうやって助けるのかを考え、実現する」という、国家として極く当たり前のことをやってこなかったのだということはしっかりと認識してもらいたいものです。

ところで、今回、一つ日本の報道で気になったことがあります。

それはブッシュ大統領との会見のことなのですが、日本の報道を見ていると、多くの人は何となく横田早紀江さん、拓也さんと大統領が単独会見をしたように感じられたのではないのでしょうか。しかし、実際にはこのとき、瀋陽総領事館駆込み事件のハンミちゃん一家や自由北韓放送の金ソンミン代表、さらに北朝鮮の収容所をテーマにしたミュージカル「耀徳ストーリー」の監督であり自らも脱北者の鄭成山氏が同席したとのことで、このときのブッシュ大統領のメッセージは包括的な北朝鮮人権問題への姿勢を表したもので、個別の拉致問題だけについてのメッセージではありません。

従って、これから重要なのは今回のことをいかに有効に使っていくかです。その意味では団長である飯塚繁雄・家族会副代表の帰国会見での「今回は一つの通過点。肝心なのはこれをステップに、具体的にどう動くかだ」と言葉に尽きていると思います。米国は慈善事業で拉致問題への関心を示しているのではなく、自国の国益にのっとってやっているのだという前提で、今回の成果をどう活かしていくかであろうと思います。知人の言葉で、「かつて『日米安保で日本はアメリカの戦争に巻き込まれる』と言われたが、この問題は、『日本の戦争にアメリカを巻き込む』のだ」というのがありますが、そのつもりでやって

いく必要があるでしょう。

それにしても、今回代表団は国防総省や国家安全保障会議を訪問しましたが、日本で家族会の方が防衛庁を訪問したことはありません。自衛隊が拉致問題解決のために動くということが、少なくとも最近まで「想定外」だったからですが、防衛庁・自衛隊の皆さん（私も片足の親指の先位は自衛隊員なので、天に唾するようなものかも知れませんが）は、この現状を少しは恥ずかしいと思ってもらいたいものです。

また、帰国後安倍官房長官への報告のとき、安倍長官は「政治家が会うより、みなさんが直接訴えた方が何倍も力がある」と横田早紀江さんらに伝えていますが、本来なら、ご家族が米国まで行かなければならない現状をお詫びすべきではないでしょうか。もっとも、安倍長官はかつて、「政治家として解決できていないことをお詫びしたい」との趣旨の話をしていますので、たまたま一部が報道されただけかも知れませんが。

いずれにしても、今回様々な形で関わった皆さんに重ねて敬意を表するとともに、私たちもこれを期に、結局拉致問題は日本が先頭に立って動かねばならないという現実立ち返って頑張っていかなければならないと、思いを新たにしました次第です。

[調査会 NEWS 367] (18.5.6)

「しおかぜ」に妨害電波

荒木和博

昨晩の放送に北朝鮮からのものと思われる妨害電波が発信されました。

これはアジア放送研究会の山下代表のご指摘で分かったもので、2チャンネルのしおかぜ実況のスレッドでも同様のやりとりがなされています。これで少なくとも北朝鮮で1人は聞いていること、北朝鮮当局がこの放送を気にしていることは分かりました。

放送開始後直ちに妨害電波を流し始めた韓国自由北韓放送と異なり、しおかぜに対して半年経って妨害電波を流した理由は、おそらく4月に行った放送改編で、ニュースや解説を流し始めたからだと思われます。特に朝鮮語の放送は安明進氏の北朝鮮の人々に対し決起を促す呼びかけも流れており、私荒木の解説でも、要は「今のうちに寝返った方が身の為ですよ」という内容ですので、多少は気に障ったのかも知れません。

ご期待(?)に答えて、今後さらに頑張りたいと思います。妨害電波が今後も継続されるかどうかは様子を見なければなりません、それに合わせて対応も考える予定です。

#### 戦略情報研究所講演会

戦略情報研究所では以下の講演会を企画しております。お誘い合せの上おいで下さい。なお、CS放送スカイパーフェクTV 767チャンネル「チャンネル桜」では本日24:00(7日0:00)及び明日7日10:00より、2時間にわたって「緊急報道・北朝鮮特集」として、青木直人氏と調査会代表荒木の対談が放送されます。視聴可能な方はぜひご覧下さい。

5月12日(金) 18:30~20:30

講師: 青木直人氏(ジャーナリスト)

テーマ 「北朝鮮処分にどう備えるのか---全拉致被害者奪還のために--」

北朝鮮に介入を強める中国、胡錦涛訪米後、朝鮮半島抜きでさらに加速する「北朝鮮処分」、拉致被害者救出のため日本は対中及び対・中米関係でどう行動すべきか

参加費 2000円

予約等はありません。直接会場においで下さい。

会場: UIゼンセン会館2階会議室

(千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549) 市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い

(地図は下記をご覧ください)

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

[調査会 NEWS 368] (18.5.9)

お詫び

前にお送りしたニュース 366,367 号について、メールの題名がどちらも「365 号」になっておりました。お詫びして訂正します。なお、本文冒頭のナンバーは間違っていない。

「しおかぜ」の妨害電波について

本日テレビで妨害電波について放送され、記者会見で安倍官房長官も「遺憾」とコメントしたため、マスコミ各社から取材が殺到しました。これについて、妨害の概要と対応等に関する調査会の基本方針をお知らせします。

#### 【妨害電波の概要】

- ・短波放送「しおかぜ」において、5月5日 23 時からの放送において、妨害電波と思われる受信障害が確認された。
- ・その後毎日「しおかぜ」放送時間帯（23 時～ 24 時・4 時～ 4 時 30 分）のみ、断続的に虫の羽音のような不快な音が複数認められる。このことから、複数の送信機によって妨害電波が発信されていると思われる。
- ・安倍官房長官は5月9日午後の記者会見で、この妨害電波について「北朝鮮からのものと認められる」と述べている。

#### 【妨害電波についての見解】

- ・昨年 10 月 30 日に放送開始以来、主に日本語で拉致被害者・特定失踪者の氏名読み上げ、家族からのメッセージの代読、家族の直接の呼びかけを行ってきた。
- ・その後、順次朝鮮語、英語、中国語による放送も行ない、今年 4 月 17 日からは、拉致問題に関するニュース解説も織り込むようになった。特に朝鮮語による放送では、ゲストの安明進氏が北朝鮮人民に対し決起を呼びかけるなどの放送も始めた。
- ・このことから今回の妨害電波は、北朝鮮側が「しおかぜ」に敏感に反応していることの流れであり、北朝鮮がその体制に大きな影響を及ぼすと認識していることの証左でもある。

#### 【今後の対応】

- ・調査会では放送開始当初から妨害電波の可能性については予想していた。そのため、直ちに周波数の変更・複数化などの対処を講じるべく、現在作業にとりかかっている。
- ・調査会では北朝鮮によるいかなる妨害にも絶対に屈することなく、拉致被害者を救出するまで「しおかぜ」の放送を続ける。

[調査会 NEWS 369] (18.5.10)

非公開の失踪者 1 名都内で所在確認

本日、非公開（2000 番台）失踪者 1 名（男性）の身元が都内で確認されていたことが分かりました。この方は昭和 40 年代後半に関東地方で失踪した方で、先月所在が確認され、その後ご家族が再会されました。

これにより関係する非公開失踪者で国内での消息が確認された人は 11 名（うち 1 名死亡）になりました。公開の失踪者（ゼロ番台リスト）で消息が確認された人は 7 名（うち死亡 1 名）ですので、合計で消息の確認された人は 18 名になります。

これまでご協力いただいた関係各位に御礼申しあげるとともに、今後とも情報等をお持ちの方はお知らせ下さいますようお願い致します。

[調査会 NEWS 370] (18.5.11)

6 団体記者会見のお知らせ

昨年北朝鮮人権法に関する民主党案の骨子が発表され、先日は自民党案の骨子も発表されました。今後国会での審議が進みますが、それにあたって、関係する 6 団体が共同で要請文を作成しました。明日 12 日に国会で関係議員に対して要請を行います。これについての記者会見を下記の通り行います。報道関係各位にはお忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

日時 5月12日(金) 11:00 ~ 11:40

場所 参議院議員会館第2会議室

参加者 要請団体(下記6団体・順不同)の代表ないしその代理

特定失踪者問題調査会・北朝鮮難民救援基金・北朝鮮による拉致と人権問題にとりくむ法律家の会・北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会・北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会・北朝鮮による拉致被害者家族連絡会

内容 要請についての説明

本件は守る会の山田文明代表の呼びかけとご尽力で実現に至ったものです。この 6 団体が共同の文書を作るのは今回が初めてであり、画期的なことだと言えます。

具体的な要請の段取りは現在調整中です。

この記者会見の案内を調査会のニュースで流したのは、会議が調査会の事務所で行われたことから、今回の要請の段取りを調査会で行うことになったもので、特に事務局としての権限をもってやっているわけではありませんのでご了解下さい。

[調査会 NEWS 371] (18.5.12)

6 団体の人権法要請内容

本日（12 日金曜）の要請について、予定で確定したのは次の通りです。ただし、変更もありえますのでご了承下さい。

10:00 衆議院第 1 議員会館ロビー集合、手分けして議員会館の関係国会議員事務所（自民党及び公明党）を回り、要請文書を届ける。

11:00 ~ 11:40 記者会見（参議院議員会館第 2 会議室）

12:00 ~ 民主党本部訪問、拉致対策本部会議の場で要請文書を手渡す。

参加者 要請団体（下記 6 団体・順不同）の代表ないしその代理

特定失踪者問題調査会（代表荒木）

北朝鮮難民救援基金（加藤博事務局長）

北朝鮮による拉致と人権問題にとりくむ法律家の会（木村晋介共同代表ないし代理）

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会（三浦小太郎事務局長）

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（平田隆太郎事務局長）

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（増元照明事務局長）

内容 要請についての説明

-----  
（要請書の全文）

北朝鮮に関する人権法案に対する要望

北朝鮮では多数の人々がはなはだしく人権を蹂躪されているばかりか、日本、韓国、レバノン、タイ、中国をはじめとする 12 カ国にも及ぶ人々が拉致されるなど、金正日政権による人権侵害は、世界で最悪のものとなっている。

一昨年、米国では北朝鮮人権法が制定され、昨年はブッシュ大統領が脱北者姜哲煥氏と面会し、北朝鮮の収容所の実態と脱北者救出の要請を受け、12 月には国連総会本会議で北朝鮮の人権侵害に対する批判決議が採択された。今年 4 月にはブッシュ大統領が横田早紀江さんなど拉致被害者家族と脱北者に面会し、拉致問題へも強い関心を表明した。また、米国のレフコウィッツ北朝鮮人権担当特使は、中国が脱北者を「不法入国者」として強制送還していることを「深刻な人権侵害」と批判し、脱北者を「難民」として実際に受け入れることを表明した。韓国においても、金英男さんの DNA 鑑定を契機に拉致被害者が再認識されつつあり、金正日政権の人権侵害に対する国際的な批判が高まっている。

北朝鮮に大勢の人を拉致された私たちは、拉致がわが国民に対してなされた許しがたい

人権侵害であると同時に、国民生活の安全を脅かすわが国への重大な主権侵害であることを自覚しなければならない。さらに私たちは、帰還事業で北朝鮮に渡っていった在日朝鮮人とその日本人配偶者の迫害など、北朝鮮の特異な独裁体制に起因する深刻な人権問題を抱えていることを忘れてはならない。

近年、生活苦と迫害によって北朝鮮を脱出した人々が救助を求め、すでに8000人近い人が韓国に入国し、日本にも100人ほどが入国していると思われる。今後、金正日政権の政権維持能力によっては、政権の崩壊も予想される。そのような場合、一時的に大量の難民の発生も想定されるが、そのような事態の発生にも万全の体制を整え、一定の難民の保護を引き受ける覚悟をもって事に当たらねばならない。

何よりも大切なことは、東アジアで拉致、誘拐、難民への虐待、強制収容所などの人権侵害を起こさせない国際関係を作りあげることが、東アジアの平和と民主主義と発展の基礎になるという認識を持つことである。

私たちは、このような時に自由民主党と民主党からそれぞれ「北朝鮮人権法案」が国会に提出されたことを心から歓迎すると同時に、直接これらの課題に取り組んでいる者として下記の要望を提出し、必要かつ十分な、実効ある一つの最終案が形成されることを強く要望する次第である。

具体的には、問題解決のこれ以上の引き延ばしを許さず、

- (1) 金正日政権の国家犯罪に対する制裁を時期を失せず課することができるよう明記すること、
- (2) 北朝鮮に拉致された疑いがある人たちの調査を積極的に行い、拉致認定の業務を迅速に行うこと、
- (3) 日本に関係する北朝鮮難民（脱北者）を速やかに保護すること、
- (4) 日本に戻った拉致被害者と脱北者について、心身の健康回復と新しい環境におけるメンタルケアに充分配慮し、社会生活の再建、自立を支援すること、
- (5) 人道的立場から北朝鮮難民の保護に、国際的な連携を図りつつ、日本政府が積極的な役割を果たすこと、

以上の5点を北朝鮮人権法の中に盛り込み、実施していくことを強く求める。

2006年5月12日

特定失踪者問題調査会 代表 荒木和博

北朝鮮難民救援基金 事務局長 加藤 博

北朝鮮による拉致と人権問題にとりくむ法律家の会 代表 木村晋介・藤野義昭

北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会 代表 山田文明

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会 会長 佐藤勝巳

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会 会長 横田 滋

(順不同)



今回は臨時の事務局を調査会で担当したため、調査会ニュースを使つての発表となりました。なお、要請には調査会専務理事真鍋・常務理事杉野も参加します。

#### 戦略情報研究所講演会

5月12日(金) 18:30 ~ 20:30

講師：青木直人氏(ジャーナリスト)

テーマ「北朝鮮処分にどう備えるのか---全拉致被害者奪還のために--」

北朝鮮に介入を強める中国、胡錦涛訪米後、朝鮮半島抜きでさらに加速する「北朝鮮処分」、拉致被害者救出のため日本は対中及び対・中米関係でどう行動すべきか

参加費 2000円

予約等はありません。直接会場においで下さい。

会場：UIゼンセン会館2階会議室(千代田区九段南4-8-16 tel03-3288-3549)

市ヶ谷駅下車3分 日本棋院斜向い(地図は下記をご覧ください)

<http://www.uizensen.or.jp/doc/uizensen/access.html>

[調査会 NEWS 372] (18.5.21)

定例記者会見のお知らせ

報道関係各位

下記の日程で定例の記者会見を行います。ご多忙中恐縮ですが取材方向卒よろしく  
お願い申し上げます。

1、日時 5月26日(金) 14:00~

2、場所 調査会事務所(3F)

3、内容

「しおかぜ」の妨害電波対策について他

1000番台リスト、ゼロ番台リストの発表については未定です。行う場合は追って  
ご連絡します

[調査会 NEWS 373] (18.5.24)

定例記者会見延期のお知らせ

報道関係各位

26 日金曜に開催する旨お知らせした定例記者会見ですが、しおかぜの妨害電波対策の確定が週末ないし週明けになりそうなので、来週に延期させていただきます。日程は決まり次第ご連絡申しあげます。大変お手数をおかけしますがよろしくお願い致します。

しおかぜの妨害電波はその日によってかなり差があり、妨害されていても弱いときは十分に聞き取れますが、昨晚と今朝はこれまでにない強さでほとんど聞き取れませんでした（関心のある方は「2ちゃんねる」にしおかぜ実況の掲示板がありますので、そちらをごらん下さい）

[調査会 NEWS 374] (18.5.29)

定例記者会見延期のお知らせ

報道関係各位

先日は記者会見を延期したところ、一部の方には連絡が行届かず、当初予定の時間においてになられた方もおられご迷惑をおかけしました。お詫び申しあげるとともに、あらためてご連絡申しあげます。

日時 5月31日(水) 14:00 ~

場所 調査会事務所 (3F)

内容 ゼロ番台リスト発表 (現在2名の予定・関連地域東京・大阪・秋田)

「しおかぜ」妨害電波対策について

その他

通常と同じく、当日 10:30 頃から事務所 3F にてゼロ番台公開者資料の配付と写真の掲示を行います。ただし、これもいつもの通りですが、報道は記者会見開始以降にお願い致します。

[調査会 NEWS 375] (18.5.31)

本日定例記者会見にて、以下の資料を発表しました。

#### しおかぜについて

5月5日の23:00の放送より、北朝鮮による妨害波が確認されました。早朝4:00~の放送については、妨害波はあるものの、聴取可能な状況でした。さらに、16日以降は23:00からの放送も妨害波はあるものの聴取可能となり、おそらく朝鮮語に絞った妨害をかけてきていると分析ができましたが、22日の放送よりすべての時間に新たな妨害波を加えて強烈に妨害をかけてきました。19日より「しおかぜ通信」内の番組表を一時掲載休止としたことが、原因の一つではないかと推測できます。朝鮮語ニュース「シオカゼ・ソシグ」に安明進氏にゲスト出演していただいて10日ほどで妨害が開始され、番組表を休止後、3日程度での対応は意外でしたが、おそらくランダムで朝鮮語ニュースが流れることを警戒してのことだと思われます。現在も放送は続行中です。

#### 対策

周波数及び放送時間の変更を行う。

切り替えと同時に5.89Mhz(5890Khz)は廃止。

#### しおかぜ第1放送

周波数1:放送時間(現地時間)早朝30分

日本語のみ、名前の読み上げ、家族からの手紙、直接の呼びかけ

#### しおかぜ第2放送

周波数2:放送時間(現地時間)夜30分

朝鮮語、英語、日本語、によるニュース解説、名前の読み上げ。

中国語は名前読み上げのみ行う。

当面の間、合わせて1時間の放送とし、北朝鮮がどのように妨害をかけてくるか一定期間見極めた上で、さらに複数周波数、時間延長、番組編成等を手段として今後の対処とする。切り替え実施時期については6月中旬を目処に、新編成で開始する。

#### 安明進氏のメッセージについて

妨害のきっかけになったと思われるメッセージについて、たくさんの視聴者からの問い合わせがあり、また、より多くの方に安氏の言葉を聞いて頂きたく6月1日より戦略情報研究所ウェブサイト内、「しおかぜ通信」でネット公開します。日本語訳、アナウンスは荒木によるもの。

内容については別途資料参照(日本語訳)

アドレス:<http://www.senryaku-jouhou.jp/shiotsuu.html>

## 第 25 次 0 番台リスト

薩摩 勝博 (さつま かつひろ)

- 性別 ・ 男
- 生年月日 ・ 昭和 24 (1949) 年 10 月 11 日
- 失踪年月日 ・ 昭和 48 (1973) 年 1 月 (当時 23 歳)
- 当時の身分 ・ 農業・牛乳販売店勤務
- 当時の居住地 ・ 秋田県峰浜村 (当時)  
農閑期のため、東京都杉並区の牛乳販売店に数カ月居住
- 失踪場所 ・ 秋田県峰浜村 (現八峰町) の実家から能代市に向かったのが最後
- 失踪当時の状況 失踪当時は農閑期だったため、勝博さんは出稼ぎで東京都杉並区の牛乳販売店に勤めていた。そこを頼っていった同じ村落出身の女性 (能代市居住) のとしばらく同居していた。二人は結婚の意思を固め、失踪前夜に勝博さんの実家を揃って訪れるが父や親戚に反対される。その夜は実家に泊まり、翌朝「彼女を能代市内に送ってくる」と行ったまま戻らず。車も発見されていない。

種子 雅也 (たねこ まさや)

- 性別 ・ 男
- 生年月日 ・ 昭和 36 (1961) 年 1 月 26 日
- 失踪年月日 ・ 昭和 63 (1988) 年 3 月 6 日 (当時 27 歳)
- 当時の身分 ・ 会社員 (金属会社の経理課)
- 当時の居住地 ・ 大阪府西淀川区の会社独身寮
- 失踪場所 ・ 不明
- 失踪当時の状況 3 月 7 日 (月曜日) に会社を無断欠勤したので、会社の人が部屋の様子を見に行く。次の日も欠勤したので、東京の家に「実家に帰っていないか」と連絡がくる。両親が本人の部屋をみたところ、洗濯物が干してあり、自家用車、免許証、銀行預金通帳、印鑑、会社の預金通帳がそのまま残されていた。前日 (日曜日) は夕食をとり、部屋にいたことを隣の部屋の人が確認している。失踪二日後に歯医者予約をしており、一週間後には会社の友人とのスキーへ行く予定だった